

観光ビジネス学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	28	ホテル・ブライダルサービス
1年	48	観光ゼミ I

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-06		
		●	●					
科目名	ホテル・ブライダルサービス				単位認定者	成澤 広幸 小野寺 理恵		※詳細は「備考」欄を参照すること。  評価の方法
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間	
						授業回数	15 回	
授業の概要	2010年代に入って急増しているインバウンド需要の主要な受け手として現在急拡大を続けているホテル業界について、本講義では特に「おもてなし」の精神を実際の行動として体現するサービス業務について学ぶ。具体的にはホテルビジネスおよびブライダルビジネスにおけるサービスについて、必要とされるマインドとスキルを講義しつつ、ロールプレイなど演習的な要素も入れながら理解を深める。							
到達目標	実際にホテルの現場第一線で豊富な経験を積んだプロフェッショナルによるホテリエに必要な知識と技術を学修する。様々な部門に分かれるホテルサービスを授業を通して体験することで、より具体的にホテルサービスを理解できるようにする。							
学修者への期待等	限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切に、講義内容の復習を積極的に行ってほしい。今後の日本の観光産業を見据え、東北に訪れた観光客に対するホテル・ブライダルサービスを自ら主体的に学ぶ姿勢を期待する。							
回	授業計画				準備学修		担当教員	
1	ガイダンス・ホテルサービスの概要 (JR東日本グループ メトロ、メッツ) ※ホテル開催				ホテルのサービスとはどのようなものを調べてください(30分程度)。		成澤 広幸 山岸 浩太郎	
2	①料飲宴会部門業務 ②料飲接客技法 ※ホテル開催				ホテルサービスにおける宴会、飲食部門について各自あらかじめ調べておくこと(30分程度)。		成澤 広幸 照井 大介	
3	ブライダル部門業務 ※校内開催				ホテルサービスにおけるブライダル部門について各自あらかじめ調べておくこと(30分程度)。		成澤 広幸 星川 恵理 佐藤 涼風	
4	ホテル・サービス：宴会場でのサービスについて ※ホテル開催				ホテルサービスにおける宴会場での仕事について各自あらかじめ調べておくこと(30分程度)。		成澤 広幸 齋藤 武義	
5	～プロフェッショナル講義～ ①ソムリエ ②SAKE DIPLOMA ※ホテル開催				ホテルサービスにおけるソムリエ、SAKE DIPLOMAの仕事について各自あらかじめ調べておくこと(30分程度)。		成澤 広幸 佐藤 喜明	
6	宿泊部門業務 ※ホテル開催				ホテルサービスにおける宿泊部門について各自あらかじめ調べておくこと(30分程度)。		成澤 広幸 門倉 健彦	
7	インバウンド概論 ※校内開催				日本のインバウンド観光について各自あらかじめ調べておくこと(30分程度)。		成澤 広幸 武田 あや	
8	～プロフェッショナル講義～ ①バリスタ ②紅茶コーディネーター ※ホテル開催				ホテルサービスにおけるバリスタ、紅茶コーディネーターの仕事について各自あらかじめ調べておくこと(30分程度)。		成澤 広幸 荒川 季絵	
9	グループディスカッション 「お客様の期待以上に応えるホテルのサービスとは」 ※ホテル開催				前回までの授業の内容を復習しておくこと(1時間程度)。		成澤 広幸 小畑 美咲	
10	プレゼンテーション ※ホテル開催				前回の授業の内容を復習し、プレゼンテーション資料を各自準備しておくこと(1時間程度)。		成澤 広幸 小畑 美咲	
11	概要説明、ブライダルコーディネーターとは、結婚定義				ウェディングプランナーの仕事について各自あらかじめ調べておくこと(30分程度)。		小野寺 理恵	
12	ブライダルコーディネーターの仕事				前回までの授業内容を復習しておくこと(30分程度)。		小野寺 理恵	
13	プランナーの会話、フルオーダーウェディング				前回までの授業内容を復習しておくこと(30分程度)。		小野寺 理恵	
14	ブライダル基礎(ブライダルコーディネーターに求められる知識)				前回までの授業内容を復習しておくこと(30分程度)。		小野寺 理恵	
15	席次表作成(グループワーク)、ブライダル基礎知識				前回までの授業内容を復習しておくこと(30分程度)。		小野寺 理恵	
教科書	『ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード』公益社団法人日本ブライダル文化振興協会							
参考文献	『ホテルビジネス基礎編』一般財団法人日本ホテル教育センター 『新ホテル総論』一般財団法人日本ホテル教育センター 『ブライダル総論』一般財団法人日本ホテル教育センター 『ブライダルプロデュース』一般財団法人日本ホテル教育センター							
備考	<評価の方法> 成澤 広幸：第1回～10回 - 試験(レポート)：40%、受講態度：30%、プレゼンテーション内容：30% 小野寺 理恵：第11回～15回 - 試験(レポート)：60%、受講態度：30%、授業内課題：10%							

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

現役のホテリエ(ホテルメトロポリタン仙台スタッフ)とブライダルコーディネーター(小野寺理恵)として実務経験を有する。各実務家の具体例のある講義やロールプレイを通じて、ホテリエに求められるマインドやスキル、サービスについての授業を行うことができる。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-09				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミ I				単位認定者	松崎 陽子		試験(レポート)	40 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題等	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度
							授業回数		15 回	
授業の概要	「初年次ゼミ」(1年前期配当)で学んだ大学の学びの基礎を踏まえて、「観光ゼミI」では観光ビジネスの現場で必要とされるコミュニケーション能力の獲得と、課題を発見し解決する能力の育成を目指す。具体的には各教員の専門的分野を中心に行われる観光に関するゼミ活動の中から関心のあるゼミを選択し、ゼミ内で課題の発見や調査、解決、振り返りなどの活動を協力して行う中で、観察力、協調性、コミュニケーション力、課題解決力などの力を身につける。									
到達目標	課題に取り組むプロセスの中で、指示待ち症候群ではなく学生自身が主体的に考えかつ行動できる能力を身につけることを目標とする。自ら考え、主体的に行動できるレベルのスキルを身につける。									
学修者への期待等	企画を立案し、企画内容を精査して取材対象を探し出し、自分でアポイントを取り対面取材を行うため、積極性が要求される。さらに記事の執筆も行うので、文章力を鍛えようという意欲的な学生を期待する。									
回	授業計画				準備学修					
1	授業ガイダンス, 自己紹介, ゼミ長、副ゼミ長の選出				【事後】配布されたワークシートを完成し、次週の授業で提出する(1時間程度)					
2	グループワーク①「観光を支える仕事」について調べる				【事後】興味を持つ業界と仕事(観光分野)をピックアップしておく(30分程度)。					
3	グループワーク②業界別にグループを再編				【事前】グループの役割分担を決める(30分程度)。					
4	「観光を支える仕事」に従事しているOGを探す				【事後】グループでどの企業のOGを取材するか相談する(30分程度)。					
5	<u>アポイントの電話ロープレ、取材方法を2年生が指導する(1, 2年生の交流の機会にも)</u>				【事後】取材のためのアポイントを取る(30分程度)。					
6	フィールドワーク。グループごとに取材活動(取材				【事前】取材対象に対して質問事項を考えておく(1時間程度)。					
7	・写真撮影などを含む)				【事後】執筆分担の相談をする(30分程度)。					
8	記事原稿作成の注意点				【事後】記事の下書きをする(1時間程度)。					
9	小冊子作製についての知識(レイアウトなど)				【事後】記事のレイアウトをする(1時間程度)。					
10	パワーポイント作製				【事後】グループごとに発表報告練習(1時間程度)。					
11	ゼミ内での発表報告会・ピアレビュー				【事後】発表の反省を行い合同ゼミに生かす(30分程度)。					
12	発表報告会				【事前】発表報告の予行練習をする(1時間程度)。					
13	(2年生: 観光ゼミⅢ-12, 13回目と合同)				【事後】合同ゼミ参加の感想文を書く(1時間程度)。					
14	小冊子納品, 取材協力先にお礼状と掲載誌送付				【事後】小冊子1冊の感想を書く(30分程度)。					
15	ふりかえり(社会人基礎力で伸ばした部分をチェック)				【事後】2年次へ向けての抱負を書く(30分程度)。					
教科書	適宜, 授業にて資料を配布する。									
参考文献	担当記事により, 適宜指示する。									
備考	取材先の都合などにより実施する回の変更, 取材先自体の変更があり得る。									

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

出版社で月刊誌編集記者として10年間勤務し、企画立案から取材・記事執筆活動全般に従事した。